大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103028	設置等組織名	グローバル・メディア・スタディーズ学部メディア工学科(予定)
大学名	駒澤大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京都	事業計画名	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部における学科の新設

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
フェーズ１	①新学科設置に関する市場調査（令和５年12月） ②他大学等への訪問（施設設備、カリキュラム編成等） ③既存建物の改修工事検討 ④設備、備品等の検討 ⑤設置認可申請に向けた詳細な需要調査（令和６年10月） ⑥新学科設置に関する広報（令和７年３月） 本学に既に設置されているグローバル・メディア・スタディーズ学部（現在はグローバル・メディア学科のみ）に、メディア工学科を設置する計画を設定する。他の学部の再編などは行わず、設置準備室を設置するなどして、本学における検討体制の構築を実施する。過去においても、学科の新設は行っており、各種会議による機関決定の後、設置準備室を中心として設置準備を行ってきた。学長室事務室と設置準備室が中心となり、学長のリーダーシップのもと、入学意向調査においては本学の入学センター、カリキュラム編成においては本学の教務部、卒業後の進路については本学のキャリアセンターなど、学内の関係部署と連携して計画を詳細化する。認可申請作業については、過去の経験から本学の総務部において滞りなく実施する。	●事業計画の変更※「計画変更承認申請書」提出・「承認通知書」受領済 当初の事業計画は、本学において平成２１年度以降学部・学科の設置を行っておらず、また理系の学部の設置実績も僅かしかない中で策定したものである。そのため、事業計画を進めていく中で、当初の事業計画では十分ではないことが明明した。まず、市場調査及びコンサルティングについて、当初の計画では新学科設置構想策定等に関するアンケート調査のみを外注する計画としていたが、調査だけではなくその結果を踏まえた助言や新学科設置構想策定等に関するコンサルティング等の支援業務まで含めて外部の業者に依頼しなければ、効果的かつ効率的な設置計画のブラッシュアップが困難であることが判明した。このため、令和５年度において市場調査委託に係る経費を増額するとともに、令和５年度及び令和６年度においてコンサルティングに係る経費を新たに計上するなどの要があるる。また、需要調査については、当初の見積もりが十分ではなく、本学の要求を満たすためには少多くの額を要することが判明した。このため、令和６年度における需要調査委託に係る経費を増額する必要がある。さらに、広報について、新学科設置構想が固まった段階で広報活動を行った方が学生募集活動を有利に行うことができると判断した。このため、令和５年度において広報に係る経費を新たに計上するの要がある。（承認日：令和6年1月22日） ●事業計画の改組内容変更の検討 入学定員を50人から45人に変更して検討中。 新学科の名称変更を検討中。 上述のとおり、市場調査と併せて市場調査結果を踏まえたコンサルティング等の支援業務を依頼するための計画変更に伴い、外部業者との契約時期が後ろ倒しとなったため、①～④の工程の実施時期が令和６年度にかかることとなった。現在カリキュラムを含め、具体的な教育課程編成案を策定中である。 ●事業計画の変更※「計画変更承認申請書」提出・「承認通知書」受領済 グローバル・メディア・スタディーズ学部のカリキュラムに無い数学などの新設科目の設計及び既存科目との統廃合の調整のため、学内教職員で設計したカリキュラム案をコンサルティング業者と検討したところ、大幅な見直しが必要となる指摘を受け、既存科目の統廃合の調整を含むカリキュラム案の再検討に、計画より更に５か月程度必要となった。このため、新学科の科目を担当する教員の手配についても、認可申請を行う予定だった令和６年度中に教員採用ができない状況となり、以上のことから、学科の新設を令和８年度から令和９年度に遅らせ、フェーズ１の各種計画の実施時期を以下のとおり後ろ倒しすることとした。（承認日：令和6年11月25日） 1-①新学科設置に関する市場調査（令和６年10月） 1-②他大学等への訪問（施設設備、カリキュラム編成等）（令和７年３月以降） 1-③既存建物の改修工事検討（令和７年３月以降） 1-④設備、備品等の検討（令和７年３月以降） 1-⑤設置認可申請に向けた詳細な需要調査（令和７年10月） 1-⑥新学科設置に関する広報（令和８年３月） 上述のとおり、カリキュラム案の再検討による計画変更に伴い、②～⑥の工程の実施時期が令和7年度にかかることとなった。なお、①新学科設置に関する市場調査については、計画通り実施し、新学科に需要があることを再確認することができた。大幅な見直しが必要であったカリキュラム案についても令和6年中に完成したため、市場調査結果及びカリキュラム案を基に全学の教授会で学科新設を審議し、了承を得ることができている。カリキュラム案の策定に伴い、新学科の科目を担当する教員についても公募を開始しており、令和6年度の計画は概ね実施できている。 令和7年度については、合格者数の歩留まり率が想定を大幅に上回り、結果として新入生数が増加したため、令和7年5月1日時点の収容定員充足率が、新学科の設置認可申請基準を超過する学部が発生した。 このため、令和8年3月の設置認可申請が不可能となったことから、事業申請要件※8「機構による事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。」を満たすことができなくなった。学部及び大学当局で今後の対応を検討した結果、理事会において本事業の廃止を決定し、令和7年11月18日付で事業廃止が承認された。	R5年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 左記のとおり、市場調査と併せて市場調査結果を踏まえたコンサルティング等の支援業務を依頼するための計画変更に伴い、外部業者との契約時期が後ろ倒しとなったため、①～④の工程の実施時期が令和６年度にかかることとなった。現在カリキュラムを含め、具体的な教育課程編成案を策定中である。 R6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。 R7年度自己評価：【１】計画を実施していない。 令和7年度については合格者数の歩留まり率が想定を大幅に上回り、結果として新入生数が増加したため、令和7年5月1日時点の収容定員充足率が、新学科の設置認可申請基準を超過する学部が発生した。 このため、令和8年3月の設置認可申請が不可能となったことから、事業申請要件※8「機構による事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。」を満たすことができなくなった。学部及び大学当局で今後の対応を検討した結果、理事会において本事業の廃止を決定した。
フェーズ２（前倒し）			○年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請又は届出	新学科設置認可申請（令和７年３月）	令和８年３月 グローバル・メディア・スタディーズ学部社会メディア工学科（仮称）設置に係る認可申請（承認日：令和6年11月25日）	
フェーズ１（後倒し）			○年度自己評価：リストから選択してください。
フェーズ２	①既存建物の改修工事（令和７年10月） ②設備、備品等の購入（令和７年10月） 設置認可申請から新学科の開設までにおける施設・設備整備を実施する期間においては、学長室事務室と設置準備室が中心となり、本学の営財部と連携して教室、備品などを整備する。ICT設備については、本学の総合情報センターとその委託業者が本学全体のICT設備を管理・運営しており、それらが連携して整備を行う。		○年度自己評価：リストから選択してください。
開設又は定員増	新学科開設（令和８年４月）	令和９年４月 グローバル・メディア・スタディーズ学部社会メディア工学科（仮称）開設（入学定員50人、編入学定員若干名、メディア工学関係）（承認日：令和6年11月25日）	
フェーズ２（後倒し）			○年度自己評価：リストから選択してください。
フェーズ３	①新学科開設に関する広報 ②学生募集活動 ③他大学等への訪問 新学科の開設から完成年度までにおける自走化戦略の深化に向けた取組を実施する期間においては、既存のグローバル・メディア・スタディーズ学部の教授会および、新設するメディア工学科の学科会議の教員が責任を持ってカリキュラムを運営する。		○年度自己評価：リストから選択してください。 ○年度自己評価：リストから選択してください。 ○年度自己評価：リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止		令和８年９月 グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科50人減員に係る届出（メディア学関係）（承認日：令和6年11月25日） 令和９年４月 グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科50人減員（入学定員257人、編入学定員若干名、メディア学関係）（承認日：令和6年11月25日）	